

## 平成 26 年度 熊本大学工業会鹿児島支部 総会開催報告

鹿児島支部の総会を、平成 26 年 8 月 30 日（土）に鹿児島市の天文館地区に位置する「ホテル・レクストン鹿児島」において開催しました。

会の冒頭、この 1 年間に亡くなられた故 吉武和臣 前副支部長 (S33 土木) ほか 5 名の同窓の方々に対し、黙祷を捧げ、御冥福をお祈りいたしました。



総会開催状況



進行：徳永康一 副支部長 (S48 土木)

総会は、矢元泰博 支部長 (S46 土木) の挨拶の後、土木行政や同窓会活動に貢献されたとして平成 25 年度の卒業生表彰を受賞された稲田博 前副支部長 (S32 土木) に、受賞内容、学生時代や就職間もない頃の思い出を、ユーモアを交えながらお話いただきました。大変喜ばしいことに、鹿児島支部にとっては、平成 24 年度に受賞された橋口輝秀 前支部長 (機械 S25) に続く受賞となりました。稲田さん、おめでとうございます。



支部長挨拶



卒業生表彰報告

続いて、来賓として平成 20 年度以来 6 年ぶりに本部からお迎えした、先進マグネシウム国際研究センター（マテリアル工学科）安藤新二教授（S60 金属）に、大学の近況や研究拠点大学 22 に選定されたことに伴う今後の改革の方向性、「熊大マグネシウム」の開発など

先端研究の取組状況等について御報告いただきました。

また、毎年実施している特別講演については、樗木秀人氏（S56 土木院）に、「藺牟田瀬戸架橋について ～今後の社会資本整備のあり方～」と題しまして、以前携わられた甌島における事業の内容や苦労話について、大変興味深い有意義な講演をいただきました。（まだまだ語り足りないご様子でした。十分な時間を確保できず、申し訳ございませんでした。）



来賓挨拶



特別講演

総会に続いて同会場にて懇親会を開催し、焼酎を片手に各自の近況を語り合うとともに、各自が新たに1人ずつ参加者を増加させ、来年は二倍の参加者とするのを誓い合うなど、大いに盛りあがりしました。最後は椎原賢次氏（S63 土木）の巻頭言、水迫光廣氏（S55 土木院）の一本締めで散会し、各自、夜の天文館へと消えていきました。

安藤先生におかれては、翌日、所用があったにも関わらず、九州新幹線全線開業により熊本から鹿児島が近くなったことから、2次会までおつきあいいただくことができました。先生、お忙しい中、ありがとうございました。



懇親会（近況報告）



懇親会（巻頭言）

なお、総会においては、平成25年度の決算や平成26年度の事業計画について御承認いただきましたが、近年、会費納入の減により、例年ベースの支部活動に支障が生じており、

役員及び事務局で協議を重ね、今回の総会及び懇親会の会場をより出席しやすい会場に変更するなど、支部活動の活発化に向け取り組んでいます。

この結果、今回は昨年度よりも多い29名の方々に出席いただけるなど改善の動きがあったところです。しかしながら、支部活動をサステナブル（持続可能）なものとするためには、更なる参加者の増大、特に今後の支部活動の担い手となる若手の更なる参加が期待されますので、よろしくお願いします。

最後に、工業会本部やホテル関係者の御尽力により総会及び懇親会が盛大に開催できたことを、この場を借りて御礼申し上げます。

#### ○鹿児島支部事務局

蒲地慶貴（H8 土木）、大藺昌吾（H6 土木）、西濱繁樹（H13 土木院）、下園伸一（H11 土木）

連絡先：鹿児島県土木部港湾空港課 蒲地（かまち）

TEL 099-286-3639 E-mail: kamati-yoshitaka@pref.kagoshima.lg.jp

